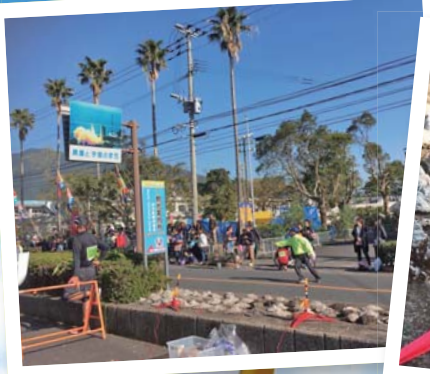


地域を
変える
チカラに

地域
おこし
協力
隊

活動報告



加藤 美和子さん



梶原 和貴さん

内之浦の秋の風物詩である「うちのうら銀河マラソン」では、肝付町ならではの特別な演出があります。ロケット打ち上げの時、実際にカウントダウンをする JAXA 職員の声でカウントダウンが始まり、カウントゼロ、よーいドン！というところでモデルロケットが発射されるのです。長さ約 30 センチほどのロケットですが、高さ 200 m ほど飛びパラシュートが開きます。打ち上げは開会式から始まり、種目コースごとに 4 機ずつ、合計 20 機ほど。YAC(宇宙少年団) うちのうら銀河分団の子どもたちと指導者が担当します。中には打ち上がらないものもあり、原因を調べます。小さなロケットですが、イプシロンロケットなどと原理は同じで、火薬を使う為細心の注意を払います。このように、JAXA の打ち上げがない時でも、ロケットと触れ合える機会があるのは肝付町の特徴だと思います。12 月 15 日には、肝付町でハイブリッドロケットの打ち上げを目指す鹿児島大学の片野田教授と学生に来て頂き、YAC の子どもたちにロケットの仕組みを学んで頂きました。鹿児島大学ではパラシュートの展開実験に成功し、打ち上げに一步近付いたようです。世界一地元へ愛される射場の、これからのロケットが楽しみです。

寒くなってきましたね、みなさん体調管理には十分気を付けてください。

それではこれまでの NPO 法人 陸の宝島・岸良の活動内容を紹介します。

10 月・11 月はイベントの開催及び出店をしました。まずは、10 月 14 日、辺塚だいたい体感ツアー（陸の宝島・岸良活性化協議会主催）では、辺塚だいたいの収穫体験を行った後、辺塚だいたいを使ったメニューを試食してもらい、ツアー参加者の方へ満喫していただきました。

11 月 4 日、蒼天祭 with おおすみハナマルシエ（鹿屋体育大学）では、辺塚だいたいを知らない方が多く、辺塚だいたいシロップ・辺塚だいたい手づくり味噌・辺塚だいたいクリームの試食を通して、辺塚だいたいの PR とともに商品の販売をしました。

11 月 23 日、内之浦農業まつりでは、辺塚だいたいのシロップ・辺塚だいたいの手づくり味噌・辺塚だいたいのクリームが好評で商品を完売することができました。

今後も辺塚だいたいを PR していきますので、是非陸の宝島・岸良の商品を使ってみてください。よろしくお祈りします。